

# 1年生の理科の授業について

( )組( )番 名前( )

1, 休校中に家庭でやること → 「理科の学習」を教科書を見ながらやる。(予習)

やるところは「ステップA 基本をおさえよう」 できたら、○

範囲	p 2	1	身近な生物の観察 (1)	[	]
	p 4	2	身近な生物の観察 (2)	[	]
	p 6	3	花のつくりとはたらき	[	]
	p 8	4	裸子植物と被子植物	[	]
	p 10	5	種子植物の分類	[	]
	p 12	6	種子をつくらない植物 植物の分類	[	]
	p 18	7	動物の分類 (1)	[	]
	p 20	8	動物の分類 (2)	[	]

2, 理科の道具 → 教科書とノートだけ家に持ち帰ります。

①教科書

②ノート 普通のノートでよい。プリントをたくさん使いますが、すべて貼ります。きりのよいときに(単元の切り替え時など)時々集めます。(成績に加えます) だから、**のりは必需品**

③理科便覧・・・学校に置いておく。参考書、資料として時々使います。

④理科の学習・・・学校に置いておく。

テスト前に配布し、テストが終わったときに回収し、点検します。つまり、テスト勉強の時に理科の学習を使います。取り組みは成績に加えます。普段から使いたい人は申し出てください。

3 その他

○理科室は東理科室か西理科室のどちらかを使う。

(東理科室は井伊先生、西理科室は松浦先生)

かぎ開けは原則として教師が行う。準備室には生徒は入らない。

**理科室では、教室と同じように座る。**

○理科は予習がいない教科です。復習が大切です。

井伊先生は原則宿題は出しません。でも、復習は大切です。忘れにくくなります。

○理科がよくできるようになる勉強法は？

①黒板に書かれたことを写すだけでなく、先生や友達の言ったことで大切だと思ったこと、自分で調べたことをどんどんノートに書く。

②できるだけ発表をする。発表をする人ほど先生の話をよく聞いている。質問に対してよく考えている。

③わからないことはどんどん先生や友達に質問する、教わる。よく質問に来る人ほど成績がよい(テストがよくできる)傾向がある。

④暗記したいことは書いて覚える。

⑤必ず問題集をやる。(向陽中学校は学習診断、理科の学習を買っています)

問題集には問題集のやり方がある。

・できれば勉強をしてから、その確かめとして問題集に取り組むのがよい。

・やったらすぐに丸付けをする。わからなかった問題(空欄)、間違えた問題(×はつけない)、適当に答えを書いたらたまたま丸だった問題に印をつける。

・そういう問題の解答欄の答えを消しゴムで消す。(これがめんどくさい)

・もう一度その問題だけをやり直す。違う色のペンで丸付けをする。問題集に丸がだんだん増えていく。全部の問題が丸になるまで粘り強く取り組む。わからない問題は遠慮せず人に教わる。(でも、もう一度後から一人でやってみること)

・すべての問題に丸がついたら、もうできない問題はないということになる。